

事務事業名	緊急校務支援員配置事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 板持 徳生
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線):2281
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:1500:2	小(中)教育振興事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			
				大事業名	緊急校務支援員配置事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒・教職員	小中学校に配置すべき教員の欠員分の校務負担が軽減している。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R4 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	教員が欠員(未配置)の学校及び常勤に代えて緊急対応非常勤講師(県費)を配置している学校に対して、欠員等により生じる教職員への校務負担を軽減するため、緊急校務支援員を配置する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 小学校4校・中学校2校 【小学校 7名、中学校2名配置】	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 令和4年度新規事業

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 欠員補充率	%			100.0	100.0
イ 欠員人数	人			6	6
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報酬 2,172千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
職員手当等 30千円		県支出金	千円		2,661	4,453
共済費 292千円		地方債	千円			
旅費 167千円		その他	千円			
計:2,661千円		一般財源	千円			
	事業費計	千円	0	0	2,661	4,453

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	教員が欠員になっている学校では、校務負担の軽減が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	全国的な教員不足もあり、県内においても引き続き教員不足が見込まれる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	教員の働き方改革の推進